

履修モデル1（2年で修了する場合）

養成する人材・・・高度専門職業人（看護実践のリーダー）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		履修方法及び修得単位数		修了要件
			必修	選択	1年次	2年次	
基盤必修科目	看護理論	1前	2		2		必修科目2科目4単位
	看護学研究方法論	1前	2		2		
小計（2科目）		—	4	0	4		
基盤共通科目	看護対話学	1後		2			4科目8単位以上
	看護管理学	1後		2			
	コンサルテーション論	1後		2	2		
	国際看護学	2前		2	2		
	看護技術科学論	1前		2	2		
	国際保健学	1後		1			
	ヘルスプロモーション論	1後		2			
	包括的健康アセスメント	2前		1			
	病態生理学	1後		2	2		
	やんばるの健康と長寿	1前		2			
	英語講読	1前		2			
小計（11科目）		—	0	20	8		
基本科目	基礎看護学特論Ⅰ	1前		2			3科目6単位以上
	基礎看護学特論Ⅱ	1後		2			
	看護学教育特論Ⅰ	1前		2			
	看護学教育特論Ⅱ	1後		2			
	地域在宅看護学特論Ⅰ	1前		2	2		
	地域在宅看護学特論Ⅱ	1後		2			
	高齢者リハビリテーション看護学特論Ⅰ	1前		2	2		
	高齢者リハビリテーション看護学特論Ⅱ	1後		2	2		
	母性看護学特論Ⅰ	1前		2			
	母性看護学特論Ⅱ	1後		2			
	小児看護学特論Ⅰ	1前		2			
	小児看護学特論Ⅱ	1後		2			
	精神看護学特論Ⅰ	1前		2			
	精神看護学特論Ⅱ	1後		2			
小計（14科目）		—	0	28	6		
演習・研究	専門演習	1後	4		4		必修12単位
	特別研究	2通	8			8	
	小計（2科目）		—	12	0	12	
修得単位数合計					30		合計30単位

修了生の進路

- ・地域の看護需要に対応して問題を解決するための指導的役割を果たす看護実践のリーダー
- (1) 病院
- (2) 訪問・在宅事業所
- (3) 行政機関（保健所等）
- (4) 国際保健分野（NGO等）
- (5) 学校・教育機関・企業等（メンタルヘルスケアの実践者）

履修モデル2（2年で修了する場合）

養成する人材・・・教育者・研究者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		履修方法及び修得単位数		修了要件
			必修	選択	1年次	2年次	
基盤必修科目	看護理論	1前	2		2		必修科目2科目4単位
	看護学研究方法論	1前	2		2		
小計（2科目）		—	4	0	4		
基盤共通科目	看護対話学	1後		2	2		4科目8単位以上
	看護管理学	1後		2	2		
	コンサルテーション論	1後		2	2		
	国際看護学	2前		2			
	看護技術科学論	1前		2	2		
	国際保健学	1後		1			
	ヘルスプロモーション論	1後		2			
	包括的健康アセスメント	2前		1			
	病態生理学	1後		2			
	やんばるの健康と長寿	1前		2			
英語講読	1前		2				
小計（11科目）		—	0	20	8		
基本科目	基礎看護学特論Ⅰ	1前		2			3科目6単位以上
	基礎看護学特論Ⅱ	1後		2			
	看護学教育特論Ⅰ	1前		2	2		
	看護学教育特論Ⅱ	1後		2	2		
	地域在宅看護学特論Ⅰ	1前		2			
	地域在宅看護学特論Ⅱ	1後		2			
	高齢者リハビリテーション看護学特論Ⅰ	1前		2			
	高齢者リハビリテーション看護学特論Ⅱ	1後		2			
	母性看護学特論Ⅰ	1前		2	2		
	母性看護学特論Ⅱ	1後		2			
	小児看護学特論Ⅰ	1前		2			
	小児看護学特論Ⅱ	1後		2			
	精神看護学特論Ⅰ	1前		2			
	精神看護学特論Ⅱ	1後		2			
小計（14科目）		—	0	28	6		
演習・研究	専門演習	1後	4		4		必修12単位
	特別研究	2通	8			8	
	小計（2科目）		—	12	0	12	
修得単位数合計					30		合計30単位

修了生の進路

・地域の健康課題をテーマに継続的に研究する教育者と研究者

- (1) 病院（隣地における教育担当者）
- (2) 行政機関（保健所等の継続教育担当者）
- (3) 専門職能団体（継続教育担当者）
- (4) 看護専修学校（教育者）
- (5) 看護系大学（教育者・研究者）
- (6) 博士後期課程進学

履修モデル3（3年で修了する長期履修生(社会人入学生)の場合)

養成する人材・・・高度専門職業人（看護実践のリーダー）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		履修方法及び修得単位数			修了要件
			必修	選択	1年目	2年目	3年目	
基盤科目	基盤必修科目	看護理論	1前	2		2		必修科目2科目4単位
		看護学研究方法論	1前	2	2			
		小計（2科目）	—	4	0	4		
	基盤共通科目	看護対話学	1後		2	2		4科目8単位以上
		看護管理学	1後		2	2		
		コンサルテーション論	1後		2			
		国際看護学	2前		2			
		看護技術科学論	1前		2		2	
		国際保健学	1後		1			
		ヘルスプロモーション論	1後		2			
		包括的健康アセスメント	2前		1			
		病態生理学	1後		2	2		
		やんばるの健康と長寿	1前		2			
		英語講読	1前		2			
小計（11科目）	—	0	20	8				
基本科目	基礎看護学特論Ⅰ	1前		2			3科目6単位以上	
	基礎看護学特論Ⅱ	1後		2				
	看護学教育特論Ⅰ	1前		2				
	看護学教育特論Ⅱ	1後		2				
	地域在宅看護学特論Ⅰ	1前		2				
	地域在宅看護学特論Ⅱ	1後		2				
	高齢者リハビリテーション看護学特論Ⅰ	1前		2				
	高齢者リハビリテーション看護学特論Ⅱ	1後		2				
	母性看護学特論Ⅰ	1前		2				
	母性看護学特論Ⅱ	1後		2		2		
	小児看護学特論Ⅰ	1前		2	2			
	小児看護学特論Ⅱ	1後		2	2			
	精神看護学特論Ⅰ	1前		2				
	精神看護学特論Ⅱ	1後		2				
小計（8科目）	—	0	28	6				
演習・研究	専門演習	1後	4			4	必修12単位	
	特別研究	2通	8			8		
	小計（2科目）	—	12	0	12			
修得単位数合計					30			合計30単位

修了生の進路

・地域の看護需要に対応して問題を解決するための指導的役割を果たす看護実践のリーダーとして、所属機関で活躍する。

- (1) 病院
- (2) 訪問・在宅事業所
- (3) 行政機関（保健所等）
- (4) 国際保健分野（NGO等）
- (5) 学校・教育機関・企業等（メンタルヘルスケアの実践者）

履修モデル4（3年で修了する長期履修生(社会人入学生)の場合)

養成する人材・・・教育者・研究者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		研究領域別履修方法及び修得単位数			修了要件
			必修	選択	1年目	2年目	3年目	
基盤科目	基盤必修科目	看護理論	1前	2		2		必修科目2科目4単位
		看護学研究方法論	1前	2	2			
		小計(2科目)	—	4	0	4		
	基盤共通科目	看護対話学	1後		2	2		4科目8単位以上
		看護管理学	1後		2	2		
		コンサルテーション論	1後		2		2	
		国際看護学	2前		2			
		看護技術科学論	1前		2		2	
		国際保健学	1後		1			
		ヘルスプロモーション論	1後		2			
		包括的健康アセスメント	2前		1			
		病態生理学	1後		2			
		やんばるの健康と長寿	1前		2			
		英語講読	1前		2			
小計(11科目)	—	0	20	8				
基本科目	基礎看護学特論Ⅰ	1前		2			3科目6単位以上	
	基礎看護学特論Ⅱ	1後		2				
	看護学教育特論Ⅰ	1前		2	2			
	看護学教育特論Ⅱ	1後		2				
	地域在宅看護学特論Ⅰ	1前		2		2		
	地域在宅看護学特論Ⅱ	1後		2		2		
	高齢者リハビリテーション看護学特論Ⅰ	1前		2				
	高齢者リハビリテーション看護学特論Ⅱ	1後		2				
	母性看護学特論Ⅰ	1前		2				
	母性看護学特論Ⅱ	1後		2				
	小児看護学特論Ⅰ	1前		2				
	小児看護学特論Ⅱ	1後		2				
	精神看護学特論Ⅰ	1前		2				
	精神看護学特論Ⅱ	1後		2				
小計(8科目)	—	0	16	6				
演習・研究	専門演習	1後	4			4	必修12単位	
	特別研究	2通	8			8		
	小計(2科目)	—	12	0	12			
修得単位数合計					30			合計30単位

修了生の進路

・地域の健康課題をテーマに継続的に研究する教育者と研究者として、所属機関で活躍する。

- (1) 病院（隣地における教育担当者）
- (2) 行政機関（保健所等の継続教育担当者）
- (3) 専門職能団体（継続教育担当者）
- (4) 看護専修学校（教育者）
- (5) 看護系大学（教育者・研究者）
- (6) 博士後期課程進学